



袋井あやぐも学園 袋井中学校だより



— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成～

令和4年5月25日発行

幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

感動！ 生徒の手による 彩雲祭（体育大会）

5月20日、さわやかな天候の中で、体育大会「彩雲彩」（さいうんさい）を実施することができました。この日のために生徒が中心となって何回も話し合いを行ったり、全校生徒へアンケートを実施したりして、競技種目や当日の運営方法などを検討してきました。大会当日も一人一人の生徒が自分の役割をしっかりと努め、盛り上げることができました。学級においては、仲間と協力することを通して、達成感や思いやる心を深めることができましたと思います。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3年生の保護者のみの参観とさせていただきました。参観につきましては、御理解と御協力をいただきありがとうございました。

彩雲祭プロジェクト委員長の話（足立紗詠さん 3年1組）

彩雲祭を実施することができ、とてもうれしく思います。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の対策のため、一から作らなければならず、地道で労力の要る作業を行ってきました。

みなさんには競技に純粋に楽しんでほしいです。そして達成感を味わってほしいです。最後まで全力で楽しみましょう。



人借り競争

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- いろいろな人と関わることができ、絆を深めることができました。
- 人とのコミュニケーションがとれました。
- 学級の人とより仲良くなれました。

全員リレー

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- バトンを繋ぎ、学級の絆を深めました。
- やっている人も見ている人もどちらも楽しみました。



しっぽ取り

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- 運動の得意不得意関係なく楽しみました。
- 他学級との交流もできました。
- 学級の人々の活躍を見ることができ、出場している人も見ている人も一体となって楽しみました。



学級対抗選抜リレー

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- クラスの代表として走る人も走らない人も、バトンをつなげることで、応援することによって学級の心を一つにすることができました。

障害物リレー

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- 競技している側も見ている側も、運動が得意な人でも得意でない人も楽しみました。
- 生徒と先生でいろいろなリレーをすることで学級の絆が深まりました



みんなでジャンプ

【彩雲祭プロジェクト委員の思い】

- 出会いのステージということもあり、新しい学級での団結が必要でした。大変な競技ですが、練習から協力して乗り越え、全員で目標に向かっていく楽しさややりがいを感じ、絆をつくるきっかけになりました。



彩雲祭のために力を尽くしてくれた委員に感謝！

彩雲祭プロジェクト委員のみんな

彩雲祭の企画・準備ありがとう

彩雲祭実行委員のみんな

学級の練習・当日の運営ありがとう